

# 水田たより 8月号

令和7年8月4日

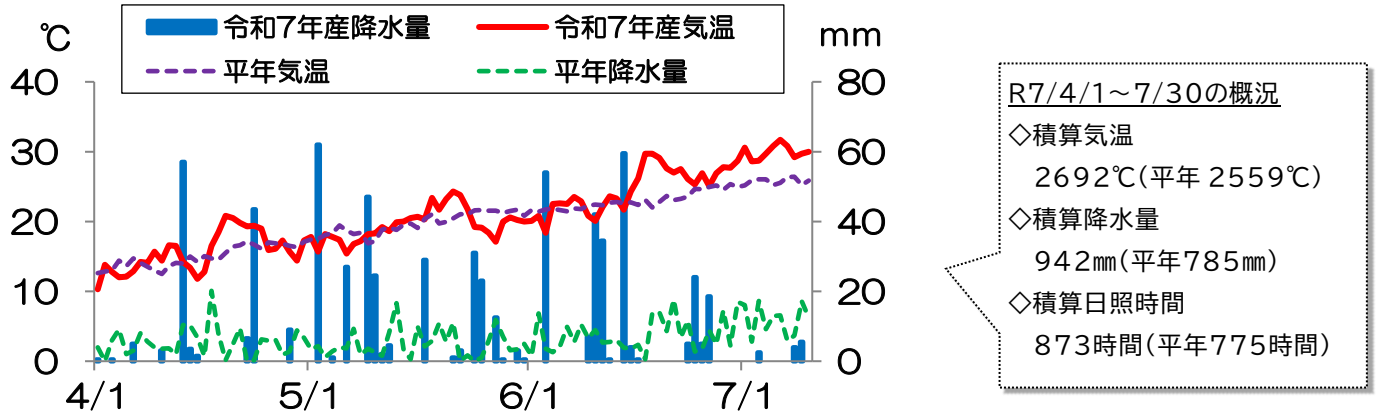
JA みえきた

桑名地域農業改良普及センター

## 水稲

### 気象状況と成熟期予測

6月中旬から気温が急激に上昇し、平年よりも高く推移しています。そのため、生育が急速に進み、昨年よりも早く出穂しました。気象庁の1か月予報（7/31発表）では、今後1か月平年より気温が高い確率が60%と予想されています。そのため、成熟期も早まると予想されます。



◇成熟期予測（7月11日時点）

| 品種         | 移植日    | 出穂期<br>(前年)        | 成熟期見込み<br>(前年)     |
|------------|--------|--------------------|--------------------|
| あきたこまち（長島） | 4月 7日  | 7月 1日<br>(7月 2日)   | 8月 3日<br>(8月 4日)   |
| コシヒカリ（桑名）  | 4月 27日 | 7月 17日<br>(7月 21日) | 8月 20日<br>(8月 22日) |
| キヌヒカリ（いなべ） | 5月 20日 | 8月 2日<br>(7月 30日)  | 9月 3日<br>(9月 3日)   |

生育基準田調査及びメッシュ農業気象・水稲生育予測システムから出穂期見込みを算出。

## 水稲

### 収穫に向けた水管理を

出穂後 20 日間の高温が続いており、白未熟粒多発のリスクが高くなっています。収穫に向けて以下の水管理を行いましょう。前月号もご参照ください。

・ 間断かん水

夕方に入水すると、田面の温度を下げる効果が期待できます。

・ 穂ぞろい期から成熟期まで終日かけ流し（用水が確保しやすい場合）

・ 収穫前の適期落水

早期に落水すると、白未熟粒の発生を助長します。収穫作業に影響がない程度に、できるだけ収穫まで落水しないようにしましょう（目安：収穫7日前に落水）。

## 水稲

### 斑点米カメムシの発生状況

病害虫発生予察注意報第2号（三重県病害虫防除所 7/11発表）では、斑点米カメムシの発生量は多いと報告されています。

**2回防除**を徹底しましょう。JAの空中散布に合わせるなどして、地域で一斉防除すると効果的です。イネカメムシが優占しているほ場の場合、出穂期（全茎の40%~50%出穂）に1回目、1回目散布後の10~14日後に2回目が防除適期です。イネカメムシ以外の斑点米カメムシが優占している場合、穂ぞろい期に1回目、1回目散布後の10~14日後に2回目が防除適期です。

難防除雑草は薬剤処理からの回復が早いです。小さいうちに、除草剤を散布し、生育を抑えましょう。  
播種2週間後に1回目防除、1回目防除の1週間後に2回目防除が目安です(前月号もご参考ください)。

### <難防除雑草の例>



マルバアサガオ  
(帰化アサガオ類)



マメアサガオ  
(帰化アサガオ類)



フウリンホオズキ  
(ホオズキ類)

### ◎ハスモンヨトウ

- ・大豆の葉裏に卵塊(図1)を産付します。
- ・若齢幼虫(図2○)は集団で葉を加害し、白変葉(図2)を生じます。
- ・中齢～老齢幼虫は周辺の株に分散。葉や莢の食害量が急増します。
- ・例年、成虫は8月下旬から急増(図3)し、白変葉は9月から増加し始めます。今年は5月下旬以降成虫の発生量が多く、急増時期の早まりや多発の可能性があるので要注意です。



図1.ふ化直前の卵塊



図2.若齢幼虫と白変葉

(出展：三重県病害虫防除所)

#### ○耕種的防除

卵塊や若齢幼虫の集団は葉ごと除去しましょう。

#### ○薬剤防除の適期 白変葉の発生が見られた直後

ほ場の観察による卵塊や白変葉の早期発見が必要です！

若齢幼虫と比べ、中齢～老齢幼虫は薬剤の効果が悪くなります。

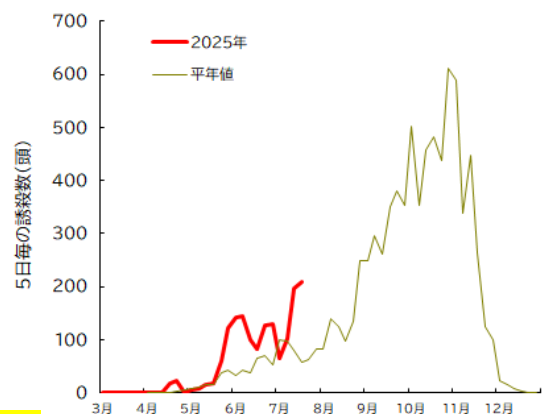


図3.

ハスモンヨトウ成虫の発生消長  
(出展：三重県病害虫防除所)

### ◎吸実性カメムシ類

- ・吸汁により莢伸長期では莢落ち、子実肥大期では不稔や被害粒を生じます。
- ・被害が激しいと青立ちの原因となり収穫作業に支障がでます。

#### ○薬剤防除の適期 1回目 莢伸長期 (開花 20 日後)

#### 2回目 子実肥大期 (開花 40 日後)

※1回のみ場合は子実肥大期初期 (開花 30 日後)

ほ場外からは発生状況の把握が難しく、発生を見落とす可能性があります。

生育を確認し開花期を把握して防除計画を立てましょう！

#### 【開花期の目安】

(サチユタカ A1 号) 6月中下旬播種→8月上旬

(フクユタカ) 7月上旬播種→8月上旬、7月中旬播種→8月下旬

7月下旬播種→9月上旬



ミナミアオカメムシ



ホソヘリカメムシ

過去の水田たよりは桑名地域農業改良普及センターのホームページでご確認いただけます。「桑名普及」でご検索ください。



桑名普及

検索